

【投資】	公園等の整備	予算額	715,652 千円
【既定】	みどりを守る	予算額	63,389 千円
【既定】	みどりを育てる	予算額	35,382 千円

事業の目的・概要

みどり豊かで身近な憩いの場や災害時に備えたオープンスペースとして、誰にとっても安全で快適に利用できる公園等の整備を進めるとともに、良好な住環境として暮らしやすく住み続けられるまちづくりを推進します。

主な取組内容

➤ 荻外荘公園の整備

荻外荘は、戦前に内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の別邸で、組閣や対外政策の重要な会談が行われ、日本政治史上重要な場所として、平成28年3月に国の史跡に指定されました。区では、荻外荘を重要な会談が行われた昭和15～16年頃の姿に可能な限り復原して史跡を活用した公園として令和6年12月に開園しました。

荻外荘の隣接地に建設する展示棟は、荻窪三庭園のインフォメーション機能やカフェを備えるほか、展示スペースには荻窪の歴史や地域にゆかりのある文化財の展示を行うなど、多くの人が集い交流できる場として整備を進めます(令和7年7月開設予定)。



荻外荘公園内にある展示棟の完成イメージ

➤ 地域の核となる公園の整備

すぎはち公園(旧杉並第八小学校跡地)は、震災救援所機能の維持を図るとともに、地域の交流の場となるよう、イベントの利用を考慮した多目的広場等の整備を行います(令和7年8月開園予定)。

また、下高井戸おおぞら公園の東側エリアは、スポーツコート等の運動施設やマンホールトイレ等の防災施設を兼ね備えた公園として整備を進めます(令和8年度中開園予定)。



下高井戸おおぞら公園(東側エリア)の完成イメージ

➤ いこいの森[※]の整備

高円寺南五丁目にある屋敷林の所有者から活用の申し出を受けたことから、「いこいの森」に整備し開設します(令和7年10月開設予定)。

※いこいの森…区内に残る貴重な屋敷林等を区が無償で借り受けて区民に開放する市民緑地

➤ **みどりの基本計画の改定**

杉並区みどりの基本計画については、これまで、学識経験者や区民等からなる検討委員会や区民の方の意見を聞きながら、計画改定の考え方をまとめてきました。みどりの取組に関する状況の変化を踏まえて、ワークショップの開催等、区民参加による計画改定の作業を進めます。

➤ **生物多様性に配慮した公園の管理**

区内には、三井の森公園、柏の宮公園、塚山公園、どんぐり山児童遊園といった希少な動植物が生息する公園等があります。これらの公園等を対象に、生物多様性に配慮した植生管理計画を作成し、計画に沿った管理を行うことで、生物多様性の保全を推進します。令和7年度は、三井の森公園にて植生管理計画を作成し、生物多様性の保全に取り組みます。



三井の森公園